

新収蔵品展

梅ばい月げつ

謎多き酒田の女絵師

令和3年
11月27日(土)～
令和4年
2月20日(日)

休館日 ◆ 11月は無休
 12月から月曜日(祝祭日の場合は翌日)
 12月29日(水)～令和4年1月3日(月)

開館時間 ◆ 午前9時～午後4時30分

入館料 ◆ 一般200円、高校生90円、
 小中学生50円(市内小中学生は土日無料)

粉本「花鳥図」/紙本着色(部分)

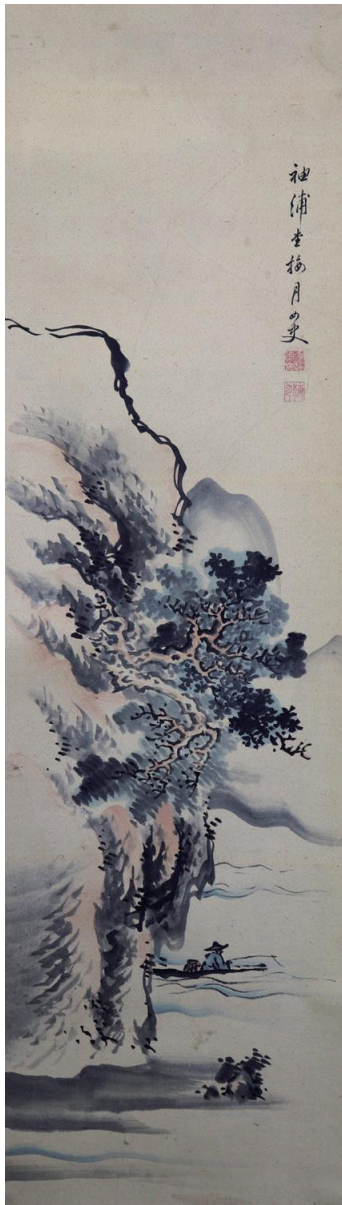
酒田市立資料館



梅月 謎多き酒田の女絵師

梅月は江戸後期の酒田の女絵師です。酒田内町組大庄屋の伊東家に生まれて彫刻師・白崎善次郎(文錦堂)の養女となり、絵は鶴岡の氏家龍溪、酒田の筒井雲泉に学びました。江戸に出て谷文晁にも師事しています。花鳥画、山水画を得意とし、歌や俳諧などにも長じた才女だったといわれていますが、弘化3年(1846)に33歳の若さでこの世を去り、経歴や人物像は謎に包まれています。現在、名前を聞くことも作品を目にすることもほとんどありません。

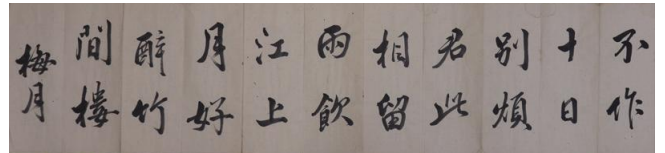
資料館では昨年度、梅月の資料を新たに収蔵し、ばらばらになっていた粉本類(習作や下書き)を補修しました。梅月本人が描いたもの、あるいは手本として入手したものと思われませんが、梅月の実力の高さ、熱心に絵に取り組んだ姿勢がうかがい知れます。本企画展では、これらの粉本を中心とした新資料を紹介し、資料館旧蔵の梅月の作品2点なども併せて展示します。酒田の文化史の1ページを彩る人物として、多くの方に知っていただく機会となれば幸いです。



「水墨山水図」／紙本墨画淡彩



粉本「張良図」／紙本着色



梅月筆 五言絶句



粉本「唐美人図」／紙本着色(部分)



粉本「熊図」／紙本着色(部分)

資料館調査員による展示解説

日時／12月11日(土)
 ①午前10時～ ②午後1時～(各回1時間程度)
 会場／酒田市立資料館1階企画展示室
 料金／無料(入館料別途必要)
 定員／各回10名
 申込／11月27日(土)から受け付け
 ※駐車場に限りがありますので、申し込み時にお問い合わせください。

お問合せ Tel : 0234-24-6544



粉本「猪図」／紙本着色

展示協力(50音順)

酒田市美術館、酒田市立光丘文庫、菅原直香氏、鶴岡市郷土資料館、(公財)本間美術館

酒田市立資料館



〈アクセス〉

- ◆JR酒田駅から庄内交通バス(約9分)「大通り商店街」下車 徒歩1分
- ◆庄内空港からシャトルバス(約30分)「中町」下車徒歩5分
- ◆日本海東北自動車道「酒田中央IC」より約10分(駐車場あり)

次回企画展予告

雛人形と 風流の世界(仮)

令和4年2月26日(土)
 ～4月4日(月)